

特定保健指導を実施します

ファミリー健診を受診された40歳以上の方で、生活習慣病のリスクの高い人に対して特定保健指導を実施します。対象となった方は、必ず受けていただくことになります。

メタボリックシンドロームの状態が長く続くと、生活習慣病を引き起こすリスクが高くなることわかっており、特定保健指導はその該当者および予備群を減少させるために実施するものです。

健康診断の結果と質問結果（喫煙歴の有無など）から、生活習慣病発症のリスクを判定し、保健指導対象者を3段階（情報提供・動機付け支援・積極的支援）にグループ分けします。保健指導を必要とする「動機付け支援」「積極的支援」に分類された方には、医師や保健師、管理栄養士が面接・指導を行い、各個人に合った生活習慣改善プログラムを提供します。



情報提供レベル (健診結果と同時実施)

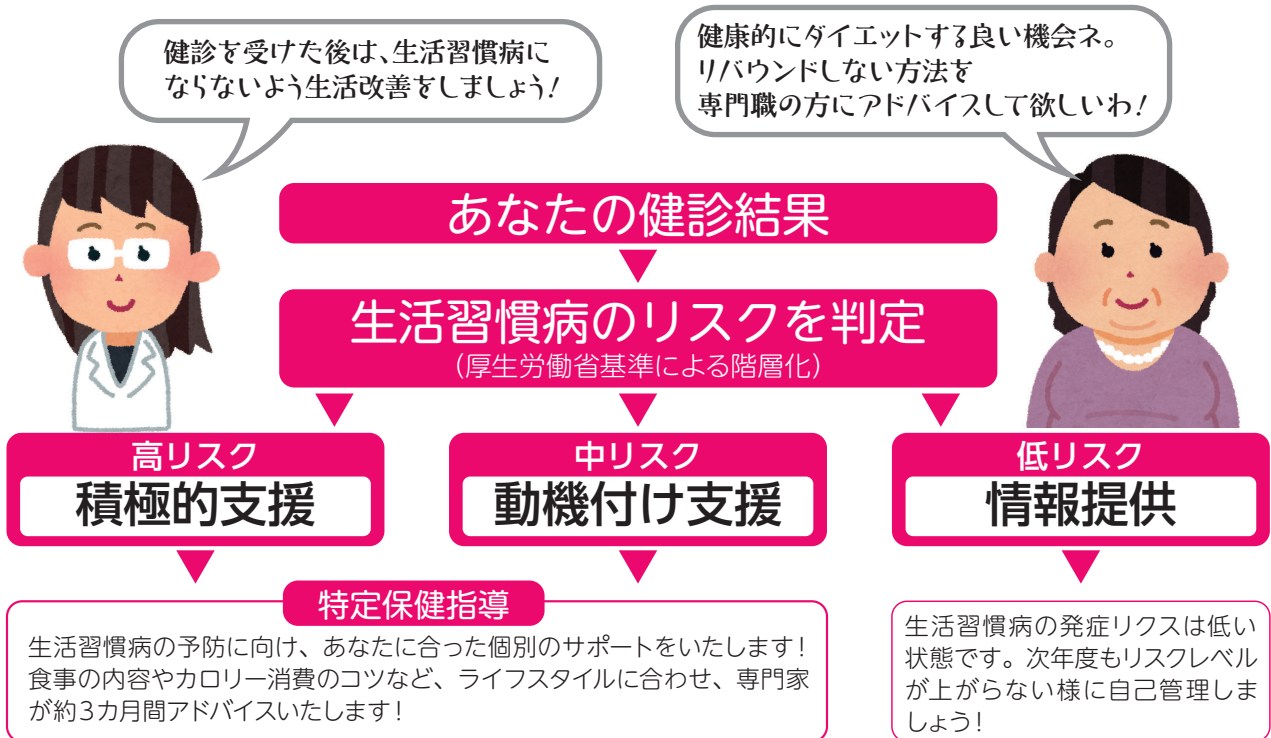
健康な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、生活習慣の見直すきっかけとなるよう、基本的な情報を提供します。

動機付け支援レベル (原則1回の支援)

メタボリックシンドロームのリスクが出始めた方を対象とした保健指導です。対象となった方には、医師、保健師または管理栄養士による保健指導が1回行われます。保健指導により、自分の生活習慣の改善点に気づき、無理のない行動目標を立てるサポートを受けることができます。

積極的支援レベル (3ヵ月以上継続的支援)

メタボリックシンドロームのリスクが重複している方を対象とした保健指導です。対象となった方は、医師、保健師または管理栄養士による保健指導が積極的に行われます。生活習慣を改善するために、無理のない行動目標を立て、継続して実行していくためのサポートを受けることができます。



特定保健指導の対象となった方には、別途ご案内いたします。
必ず指導を受けてください!